概要版

海・山・空 夢ひらく 市民協働のまちづくい

〈三原市市民協働のまちづくり指針〉



さあ,あなたも 『協働』へのとびらを 開いてみましょう!

三 原 市

1. 市民協働のまちづくり ~「協働」ってなんだ?~

一人でやってたら時間もかかるし-



─ 行きづまることもあるけど‐



みんなごやったら



ステキなものがごきたよ!



私たちのまわりには、ひとりでやるよりもお互い協力してやることにより、良い知恵や大きな力が生まれることがたくさんあります。「協働」とは、このように、地域や公共の課題を解決したり、より地域の魅力を引き出すために、市民(個人)、市民活動団体、住民自治組織、各種団体、企業、行政(市役所)などが、対等な立場で、お互いの責任と役割分担のもとに、取り組むことです。



「協働」ってみんなが幸せな暮らしを するための方法なんだね。

三原市では「協働」という言葉に、一般的な"市民と行政の協働"に加えて、"市民相互の協働"という意味も含めて、「市民協働」と表現します。

また、「市民協働」によるまちづくり活動の体系を、「市民協働のまちづくり」と呼びます。

三原市のめざす市民協働のまちづくり

三原市はすべての人が 生き生きと幸せに暮らせ るまちをめざしています。 そのためには、市を構成 する様々な主体が、「協働」 という方法でまちづくり を行う必要があります。 市民協働によるまちづくりは、1+1が2ではなく、 10にも100にもなる方法 だからです。



三原市が考える「市民協働のまちづくり」のポイント

市民協働では対話が命!

市民協働で何かをしようと思ったら、相手との信頼関係がないとできません。信頼関係を築くには、お互いがよく話し合うことが大切です。

三原市では、市民協働のまちづくりを進めるにあたって、市民と行政との**「対話」**を基本にします。



市民協働のまちづくりの三本柱

市民と行政,市民相互の協働(協働事業)を広げることは大切ですが,三原市はその前提となる市政・まちづくりへの市民の参加や参画,市民活動や地域活動の活発化も,市民協働のまちづくりの柱と考えています。







2. なぜ、まちづくりに「協働」が必要なの?



協働の意味はわかったけど、どうして最近になって急 に話題になってるの?

なぜ、協働でまちづくりを進めないといけないの?

これからのまちづくりは市民と行政が「協働」で進めていく必要があります。 それは、主に次のような社会的背景があるからです。

① 新三原市の魅力の創造

合併により新しい三原市が誕生し、各地域の個性や魅力を活かしたまちづくりを進めることが課題となっています。

③ 市民の参加意識の高まり

個々のノウハウや能力を活かしながら、主体的にまちづくり活動に参加する市民が増えています。

⑤ 新しい行財政運営の必要性

市町村の厳しい財政状況により、行政と市民が それぞれ責任感を持って役割を担う、新しい形の 行財政運営が必要となっています。

② 市民ニーズの多様化

市民ニーズが多様化する中で、行政がすべてのニーズに対応することが困難となってきています。

④ 地方分権の進展への対応

地方分権により市町村の権限が大きくなり, 地域住民の自主的・主体的なまちづくりが求められています。

行政に頼るだけじゃなくて, 市民と行政の役割分担が、 必要なんだね。

時代と共に社会や経済の状況が変わっていく のに合わせて、まちづくりのやり方もみんなで 協力して行う方法に変えていく必要があります。

また, 市民協働のまちづくりにより, 市民側と行政側双方に, 様々なメリットが期待できます。

市民のメリット

- ●ニーズに合った公共サービスの享受
- ●生きがいづくり, 自己実 現の機会創出
- ●市民主体の新しい社会の 形成

市民活動団体等のメリット

- ●市民活動・地域活動の活性化,
- ●市民活動・地域活動の社 会的認知
- ●行政との協働を通じた組 織のレベルアップ

行政のメリット

- ●多様な行政サービスの提供
- ●職員の意識改革・資質向 ト
- ●行財政運営の改善

3. 市民協働のまちづくり、何から始めたらいいの?

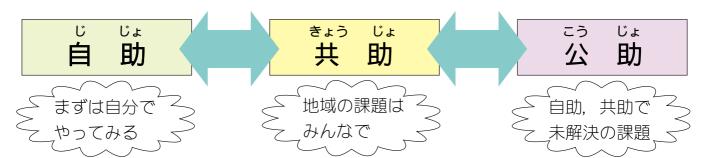


市民協働のまちづくりって何となく良さそうだから, やってみようかな。

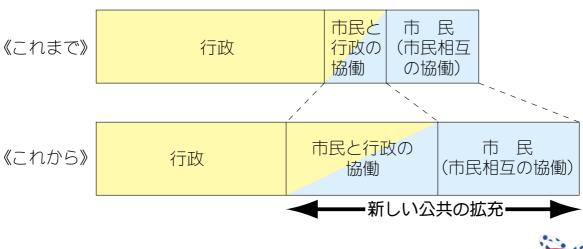
でも、私たちは具体的に何をすればいいんだろう?

ミステップ1ミ まずは意識改革から!

市民協働のまちづくりを進めていくには、まずは"自分でできることは自分でする"という意識を持つことが大切です。



また,公共サービスは行政が提供するもの,という認識を変える必要もあります。行政だけでなく,市民活動団体や住民自治組織,企業などが担うことができる公共サービス(新しい公共)もあります。



新しい公共には、防災・防犯活動や、 地域での子どもの見守り活動などがあるよ。



テップ2 次に役割分担を理解する!

市民や企業、行政などの得意分野は様々です。それぞれが自分の得意分野で 力を発揮するためには、役割分担をする必要があります。

民 市

- 情報の収集
- ●地域活動への参加
- 市民活動・社会貢献活動 への参加



市民活動団体

- ●専門的知識や情報の活用
- ●活動の場の提供
- 活動の強化拡大
- 公共サービスの提供

市民協働



住民自治組織

- ●地域の中の組織づくり
- 住民同士の交流
- ●地域の課題解決

各種団体

- まちづくりへの参加
- 地域活動・市民活動 への支援

業 企

- まちづくりへの参加
- ●社会貢献活動のための環 境づくり
- 地域活動・市民活動への 支援



行 政

- 情報の提供・共有、対話の拡充
- ●環境の整備
- 参加機会の提供
- 協働の啓発・人材の育成職員の意識改革
- ●推進体制の整備



役割を分担し、それぞれの良いところを発揮することで、単独ではでき なかった新しいサービスや、きめ細かいサービスを提供することができます。

協働でできるまちづくりはたくさんあります。まずは身近でできるところから始めてみましょう。

こんな協働分野があるよ

① 地域ごとのきめ細かい対応が必要な分野

地域住民の参画を得て、放課後こども教室の取組 を推進しています。**〈事業協力〉**

教室ごとに学校・保護者・地域住民からなる運営委員会を組織し活動内容を考え,ボランティアとして参加することで,相互理解と連携が進んでいます。



② 地域社会との密接な連携が必要な分野

地域住民が連携して自主防災組織を設立し防災活動を行っています。<補助・助成>

平常時は情報の収集や伝達, 防災知識の普及及 び防災訓練の実施などを行っています。活動を通 して, 地域住民の連帯や住民の相互扶助の意識が 図られています。



③ 専門性の高いサービスが求められる分野

専門知識が豊富なNPO法人と共催して講座を開催しています。

阪神・淡路大震災以降、NPOやボランティア団体の活動への関心が高まっており、三原市でもNPOの立ち上げや活動促進のため、ひろしまNPOセンター等と共催して研修会を開催しています。



④ 合意形成が必要な分野

みはらし環境塾は環境施策について市民が提言します。 **〈政策提言・企画立案参画〉**

公募により環境塾塾生を募集し、環境対策に必要な施策を提言していただきます。

塾終了後は、三原市の環境分野でのリーダー的存在として、策定後の検証・進行管理等に市民代表として参加が期待されます。



4. これから三原市が取り組むこと

三原市では、今後市民協働のまちづくりを進めるために、次のような取り組 みを行っていきます。

- ① 情報を共有できる仕組みづくり
- ② 市民意識の醸成・職員意識の改革と担い手・推進体制づくり
- ③ 市民がまちづくりに参加・参画しやすい仕組みづくり
- ④ 市民活動,地域活動がしやすい環境づくり
- ⑤ 協働を評価し推進する仕組みづくり



さて、いかがでしたか?

「協働」は新しい試みでも特別なことでもありません。 私たちは気づかないうちに、

すでにいろんなところで協働しています。

「協働」はみんなが生き生きと幸せに暮らせるまちを 実現するための方法です。

「市民協働のまちづくり」によって、私たちのまちを、 私たちの生活をもっともっと良いものにしていきましょう。

三原市は、市民協働のまちづくりの道標(みちしるべ)として、平成20年(2008)年2月に「三原市市民協働のまちづくり指針」を策定しました。

この冊子は, 指針の内容を少しでも多くの皆さんに知っていただくために, 作成したものです。



平成20(2008)年4月発行

《発行・問い合わせ先》

三原市役所まちづくり推進課 三原市港町3丁目5番1号

2 0848 (67) 6184 FAX 0848 (67) 6199

machizukuri@city.mihara.hiroshima.jp